



インポート ファイルの検証

BAT の [インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] ページを使用して、インポート .tar ファイルを検証できます。この機能を使用すると、次のことを検証できます。

- .tar ファイルには、ヘッダー ファイルが含まれている。
- ヘッダー ファイルに示されているすべてのファイルが、実際に .tar ファイルに含まれている。
- .tar ファイル内のすべてのファイルがヘッダー ファイルに示されている。
- ファイル名は [インポート/エクスポート (Import/Export)] で入力したとおりで正しい。
- .tar ファイル内の CSV ファイルのファイル フォーマットは正しい。



(注)

この機能には、有効な文字、文字列の長さなどのフィールド レベルでの確認は含まれていません。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート/エクスポート (Import/Export)] > [インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] の順に選択します。
- [インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Tar ファイル名 (Tar File Name)] フィールドで .tar ファイル名を選択し、[送信 (Submit)] をクリックします。



(注) [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスに、アップロードした .tar ファイルがすべて表示されます。.tar ファイルのアップロードについては、[第 2 章「ファイルのアップロード」](#) を参照してください。

- [ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
- ステップ 3** ジョブのステータスを確認するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

ログ ファイル

1 つのインポート ファイルの検証で複数のログ ファイルが作成されます。トランザクション全体に関して 1 つ、インポートするために選択した各項目に 1 つずつ、ログ ファイルが作成されます。ログ ファイル名の先頭に項目名が追加されるため、ログの識別は容易です。

これらのファイルには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ページからアクセスできます。

検証中に問題が発生した場合は、ログ ファイルに示されます。



(注)

検証作業は、前述の項目に対してのみ行われます。

関連項目

- 「設定のエクスポート」(P.62-1)
- 「.tar ファイルの編集」(P.62-7)
- 「ファイルの検索」(P.2-1)
- 「ファイルのダウンロード」(P.2-2)
- 「ファイルのアップロード」(P.2-3)
- 「ファイルの削除」(P.2-4)